

2016年12月

千葉県地方創生に関する研究

情報学部 経営情報学科 幡鎌ゼミ
B3P21040 木内丈

【卒業論文概要】

本研究では、自分の出身地である千葉県の地方創生について分析した。まず全国各地で行われている地方創生の成功事例や、千葉県で行われた地方創生の事例を分析し重要な要素を探った。その結果「ITの有効利用」や「他県との差別化、独自性」といった要素が成功のカギとなっていることが分かった。これらを踏まえたうえで、千葉県の持つ特性や特徴を分析しそれらを活かした地方創生の方法を探ることとした。千葉県は東京圏でありながら、豊かな自然環境を持ち、多数の海水浴場などの観光地に恵まれている。県内の各地域で様々な特性を持つ千葉県では、県内を5つのゾーンに分けることにより、それぞれの地域の特性を活かした成長戦略を掲げていることが分かった。これを比較・分析したうえで、私は「食」を題材とした観光に注目した。黒潮と親潮が交わる漁場は千葉県特有の強みであり、寿司をはじめとする海産物を利用した食べ物は成田空港を利用する外国人観光客にも大きなアピールポイントになると考えた。さらに今後はこれらの魅力をSNSやメディアを利用した情報発信に力を入れるべきだと考えた。